

4年制大学卒、大学院卒の方の場合

キャリアアップ／
就転職に活かしたい
＝合格(PASS)で
有効！

試験合格を目指し、単位要件の緩やかな州を選択しましょう！

オススの州	単位要件		
	総取得単位数	ビジネス単位数	会計単位数
アラスカ(AK)州	—	—	15単位

【License 取得要件】2～5年 500時間以上の監査実務経験および、会計 24単位、BusinessLaw3単位、Economics 3単位、Math/Statistics/Computer Scienceいずれか3単位、総取得単位150単位が必要。単位の取得は合格後の取得でも構いません

合格後、
実務経験なしで
Certificateを
取得したい
(名刺に書きたい)

実務経験なしでCertificateの取得が可能な州を選択しましょう！

オススの州	単位要件		
	総取得単位数	ビジネス単位数	会計単位数
グアム(GU)	—	24単位 (指定科目あり)	24単位 (指定科目あり)

実務経験なしでCertificateとInactiveなLicenseの取得が可能です。名刺の記載はU.S.CPA-Inactiveになります。License取得のためには、総取得単位が150単位以上であれば、1年間、150単位未満であれば2年間の実務経験が必要です。※監査実務がない場合はLicense業務に制限があります。
(注)監査法人等にお勤めの方が名刺に書くためにはLicenseの取得が必要です。

将来的に
Licenseを
取得したい

一般企業での会計実務が認められる等、実務要件の緩やかな州を選択しましょう！

オススの州	単位要件		
	総取得単位数	ビジネス単位数	会計単位数
ワシントン(WA)州	150単位	24単位 (下記参照)	24単位 (下記参照)

【単位要件】初級レベルの会計単位は9単位まで、Computer ScienceおよびStatisticsに関するビジネス単位で学部で取得したものは各々6単位まで認められる。会計単位が24単位を超える場合には超過分をビジネス単位としてカウントしてもらえる。

【License 取得要件】1年以上の一般企業での会計実務経験も認められる可能性があります。実務経験の証明には5年以上のActiveなLicenseを持ったUSCPAのサインが必要ですが、直属の上司でなく、社外のUSCPAでも可です。

他州で合格後、合格実績をワシントン州にトランスファー！？

Licenseが狙いやすい州としてワシントン州に魅力を感じる方も多いと思います。しかしワシントン州は受験資格を満たすために要求される単位数が多いため、特に学習開始時点で会計やビジネスの単位をあまりお持ちでない方は、単位取得にかかる費用や時間の負担も大きくなります。

現在、ワシントン州は他州の合格実績を、合格後でもよいので単位要件を満たせば、受け入れてもらえる州です(2013年2月現在)。したがってLicenseの取得を迷われている方で、会計やビジネスの取得済み単位数が少ない方はまずはできるだけ試験合格に向けての学習に専念できるよう、受験資格を満たしやすい州、例えばアラスカ州に出願し、合格後、必要に応じてLicenseが必要と判断された段階でワシントン州の単位要件を満たして合格実績をワシントン州に移転し、Licenseの取得申請をする方法もあるのです。TACはできるだけ単位取得の負担を軽くして早期合格を目指すことをおすすめしています。

※州のルールは予告なく変更される場合がございます。

License サインサポート

License サインサポートに関しましては、TAC 米国公認会計士講座へお問い合わせください。(uscpa@tac-school.co.jp)